

令和 5 年度の取組実績・令和 6 年度の取組予定

令和5年度の取組実績

【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(旭川開発建設部)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (名寄市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、 排水機場改築等 (点在する市街地)		→	
【河川事業】 河道掘削、堰改築、 堤防整備 (点在する市街地)			→

R5年度の取組内容

河川事業

河道断面を広げて流下能力を確保。
(施工中の様子)



堤防の拡幅
(堤防強化対策を含む施工中の様子)



流下能力維持のため、必要な樹木伐採等を実施。



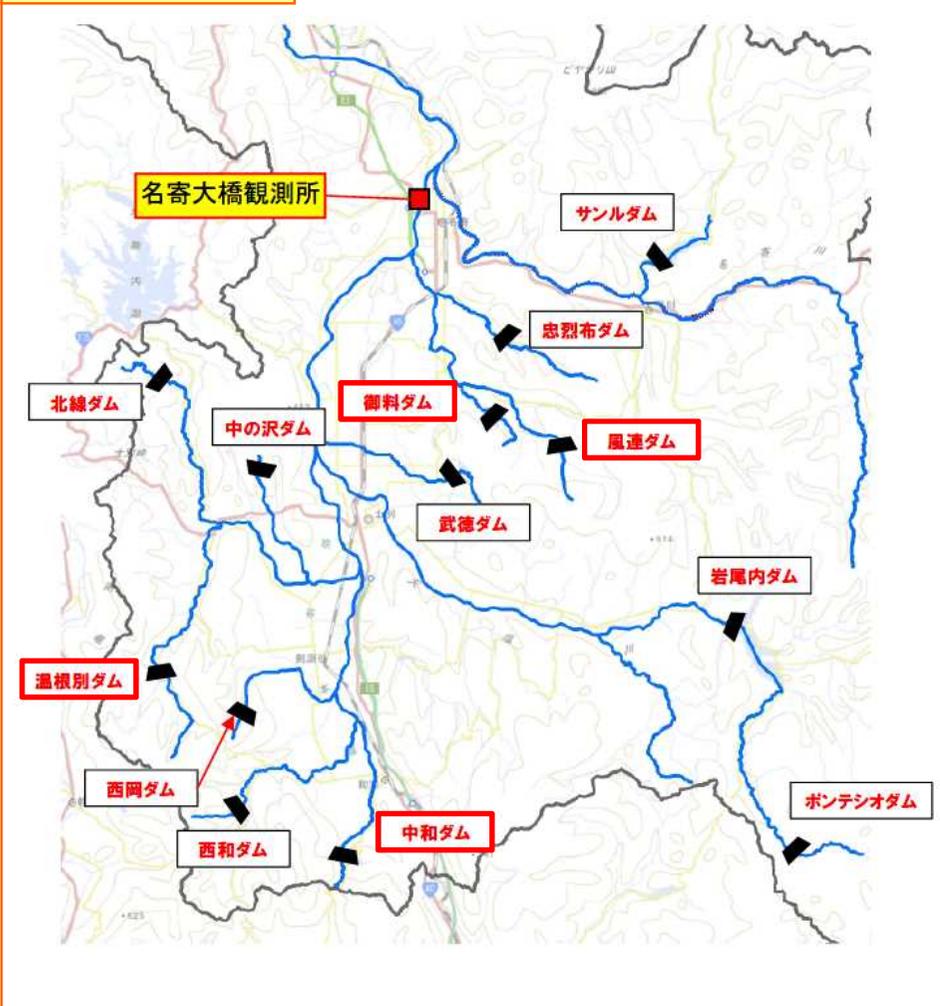
水防活動の拠点として、下川地区、名寄地区の拠点整備に向けた調整、用地取得を実施。
(写真は下川地区水防拠点 施工中)



【利水ダム】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

令和5年8月4日～8日の前線に伴う大雨では、治水協定に基づき、利水ダムの空き容量を活用した洪水貯留を実施。＊ 各ダム下流河川の水位低減に寄与したものと考えられる。

天塩川上流のダム



令和5年8月4日～8月8日の主な洪水貯留の実績

ダム名	所管省庁	ダム管理者	貯留量 (千m3)
中和	農林水産省	てしおがわ土地改良区	1,432
御料	農林水産省	名寄市 (てしおがわ土地改良区)	925
風連	農林水産省	名寄市 (てしおがわ土地改良区)	1,306
温根別	農林水産省	てしおがわ土地改良区	3,287
天塩川上流		計	6,950



＊事前放流等により確保すべき容量が利水等により既に確保されていたため事前放流は実施せず

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(旭川建設管理部)

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
豊栄川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒ (R4完了)		
忠烈布川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
ペンケペオツペ川総合流域防 災事業 (和寒町・剣淵町)	⇒	⇒ (R10完了予定)	
剣淵川広域河川改修事業 (上流工区) (和寒町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
剣淵川広域河川改修事業 (犬牛別川工区) (士別市・剣淵町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
剣淵川広域河川改修事業 (六線川工区) (和寒町・剣淵町)	⇒	⇒ (R16完了予定)	⇒
十六線川通常砂防事業 (和寒町)	⇒ (R4完了)		
朝日六線川通常砂防事業 (士別市)	⇒ (R5完了)		
東二号の沢川通常砂防事業 (美深町)	⇒ (R3完了)		

R5年度の取組内容

過年度から引き続き、河道掘削、砂防堰堤整備等を推進する。



剣淵川(和寒町) 施工箇所(河川)



朝日六線川(士別市) 施工箇所(砂防)

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(上川総合振興局産業振興部整備課(整備課・北部耕地出張所))

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
農業農村整備事業 (農地の整備・ため池等の整備)	→		
農地整備事業(中士別第1期地区)	→		
農地整備事業(中士別第2期地区)	→		
農地整備事業(中士別第2地区)	→		
農地整備事業(中士別第3地区)	→		
畑地帯総合整備事業(ちえぶん地区)	→		
田んぼダムの広報	→		

R5年度の取組予定

農業農村整備事業

農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備)
農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、水田の貯留機能の向上をはかる。

排水路の整備

畑地帯総合整備事業において、排水施設の整備、耐水化をはかる。

田んぼダムの取組に関する広報

関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

R5年度の取組内容

農業農村整備事業の実施

北部耕地出張所において、農地整備事業を実施し、田んぼダムの取組となる基盤を整備した。

また、畑地帯総合整備事業を実施し、排水施設の整備と耐水化をはかった。

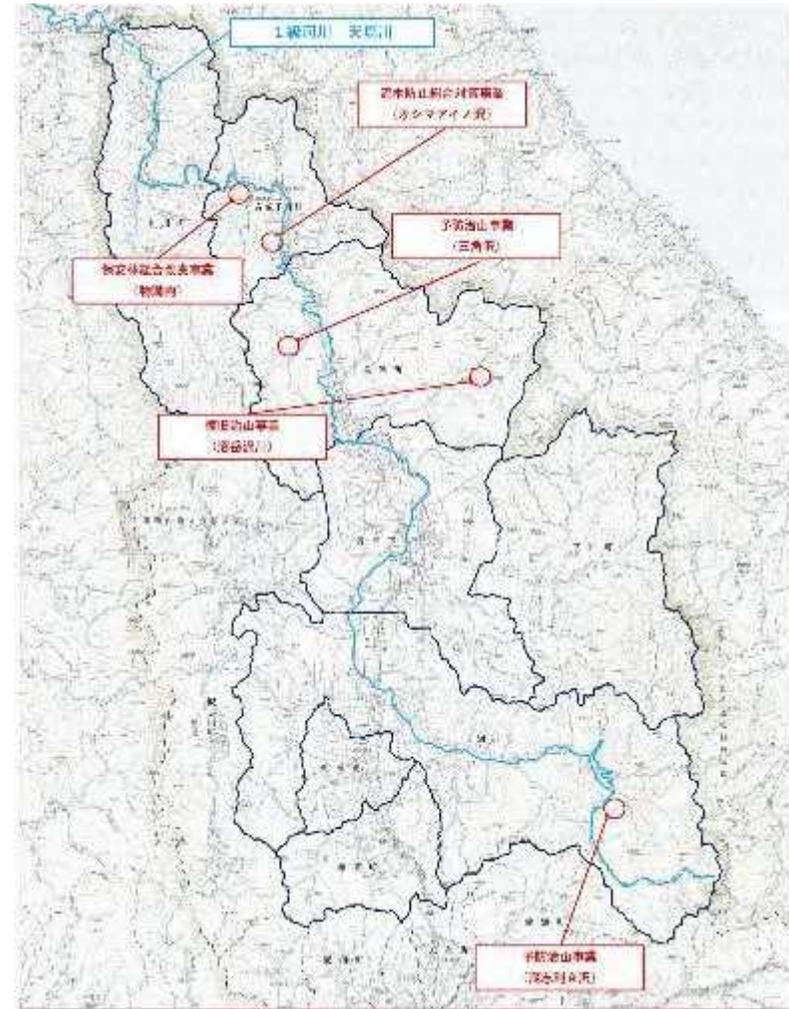


【上川総合振興局林務課・北部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(上川総合振興局林務課・北部森林室)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
復旧治山事業 (沼岳沢川)	R6以降随時見直し(予定)		
流木防止総合対策事業 (オシマアイノ沢)	R6以降随時見直し(予定)		
予防治山事業 (三角沢) (茂志利A沢)	R6以降随時見直し(予定)		
保安林総合改良事業 (物満内)	R6以降随時見直し(予定)		

R5年度の取組内容



実施年度	工種・数量	実施箇所
令和5年度	溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 森林整備 4.90ha	沼岳沢川 オシマアイノ沢 三角沢 茂志利A沢 物満内

【上川北部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(上川北部森林管理署)

国有林野施業実施計画			
事業区分	上川北部森林計画区 (R5年度～R9年度)		
治山	溪間工	9	箇所
	山腹工	1	箇所
	植栽工	—	ha
	本数調整伐	37	ha
森林整備	間伐	7,089	ha
	更新(造林)	422	ha
	保育(下刈)	3,585	ha
	(除伐)	1,143	ha
	林道(開設)	17,305	m
(改良)	90	m	



令和5年度の取組内容

茂志利二の沢治山工事



当該箇所は、崩壊土砂流出危険地区のAランクに該当し、下流にある農地及び道道に対し、流木の抑止や土石流の流下を緩やかにすることで被害の軽減を図るため、溪間工と流木捕捉工を各1基設置した。

【国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター北海道水源林整備事務所】

流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(森林整備センター北海道水源林整備事務所)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
水源林造成事業	→		

R5年度の取組予定

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

- ・天塩川流域における水源林造成事業地は、約21箇所（森林面積約9百ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

R5年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策
森林整備 間伐実施



間伐実施前



間伐実施後

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

■令和5年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動の支援となるよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆防災気象情報の利活用推進

■上川・留萌管内防災連携TV

令和5年8月～

旭川地方気象台では、令和3年12月から市町村等を対象にZoomによる気象解説を実施している。令和5年8月からは『上川・留萌管内防災連携TV』として、週一回の定期開催と、警報級の可能性が高まった時などの臨時開催とし再スタートした。上川・留萌各（総合）振興局及び旭川・留萌各開発建設部との5者連携・協力とし、平時から上川・留萌管内市町村へ気象等解説や情報共有を行なう場となっている。「顔の見える関係」の構築・深化を図るとともに、緊急時における地域の防災対応に資することを目的としている。

8月2日に実施した臨時開催の様子（イメージ）



3日～5日頃の大雨について

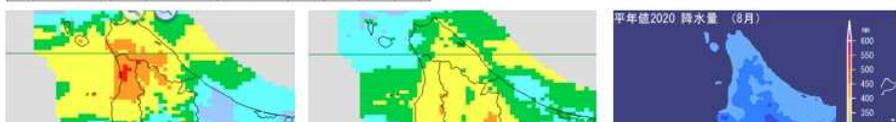
資料は
部内限り



観測地点	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
旭川	12.5	15.2	18.1	21.3	19.8	17.4	15.6	14.2
留萌	11.8	14.5	17.3	20.6	19.1	16.7	14.9	13.5
網走	10.2	12.9	15.7	19.0	17.5	15.1	13.3	11.9
稚内	9.5	12.2	15.0	18.3	16.8	14.4	12.6	11.2

3～5日の大雨の早期注意情報（警報級の可能性）は【中】としていますが、2日17時の発表予報で、3日夕方から【高】とする検討をしています。

雨の予想 多い所で、1時間降水量 40ミリ
3日6時～4日6時までの24時間降水量 多い所で 100～150ミリ
4日6時～5日6時までの24時間降水量 多い所で 50～100ミリ



■市町村との大雨事例振り返り

令和5年10月

令和5年8月3日から6日にかけて、停滞前線の影響により上川・留萌地方の広い範囲で大雨となり、特に、5日から6日にかけて、上川・留萌地方ではまとまった雨が降り、降り始めからの総降水量が8月の平年の一か月の降水量を超えた地点もあった。このことから、気象台の発表する防災気象情報の今後の改善等を目的に、当時の気象状況や自治体における防災対応等の振り返りを複数市町村で行なった。



－令和6年度に向けて－

引き続き、「市町村との顕著事例振り返り」「上川・留萌管内防災連携TV」「気象防災ワークショップ」を行ない、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の取組を進める。

非常災害時には自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探る。

【士別市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(士別市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水排水施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・田んぼ2,221.099ha(作付面積)のうち、**約606.4haを田んぼダムとして活用**しています。

マイタイムライン研修会

・水防研修会において、参加者を地域分けし、それぞれの地域特性に応じたマイタイムラインを作成(グループ討議の1コマ)



減災対策協議会における「取組方針」(士別市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・水防研修会を通じてマイタイムラインの必要性について普及を図るとともに、マイタイムライン講習会を実施する。 ・市内各自治会役員に「水防研修会」を通じて、水害のリスクを学ぶとともにマイタイムラインを作成し、自助の意識を高めた。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練実施状況を確認し、洪水想定の実施を促進(状況により、助言等を実施) ・市内小・中学校の避難訓練を視察し、避難行動時の注意事項が徹底されているかを確認
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・作成することによる効果と作成費用を検討し、まるごとまちごとハザードマップ等の作成を決定する。 ・未検討
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行う。 ・市内小学校、老人クラブ、自治会等あわせて20回の防災講話により、防災意識の高揚を図った。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外となっている地区の水害リスクを把握し、避難判断マニュアルへの反映 ・大雨時、ハザードマップ対象外の地区の水害リスクについても把握はしているが、マニュアルへの反映は、未実施

【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(名寄市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

立地適正化計画による住居移転

立地適正化計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の配置計画見直し、居住誘導区域内へ再配置に合わせて、浸水リスクの低いエリアへの移転を実施

高台整備

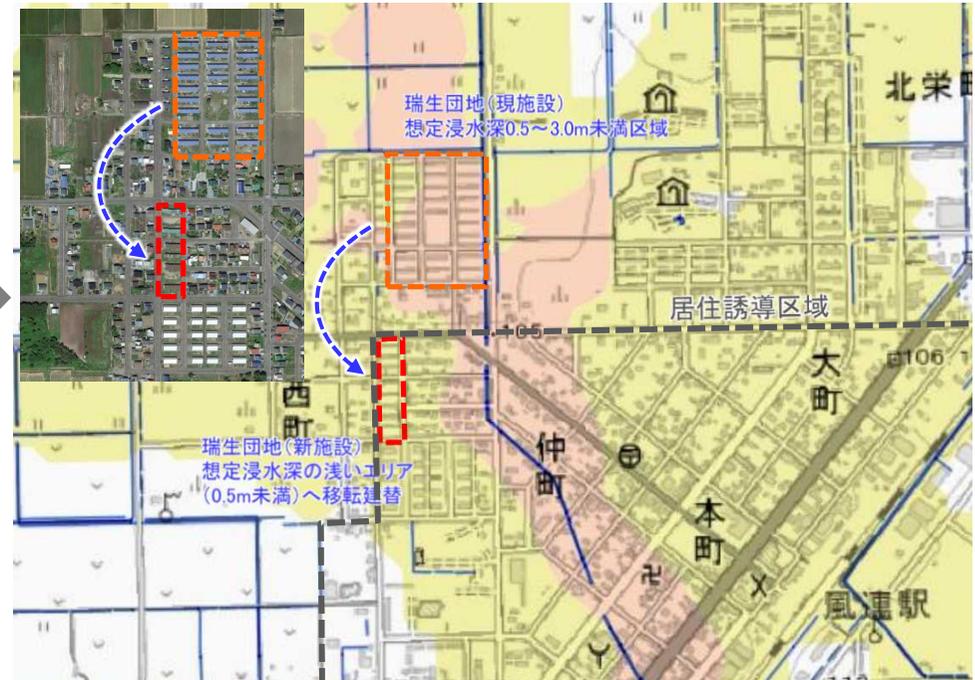
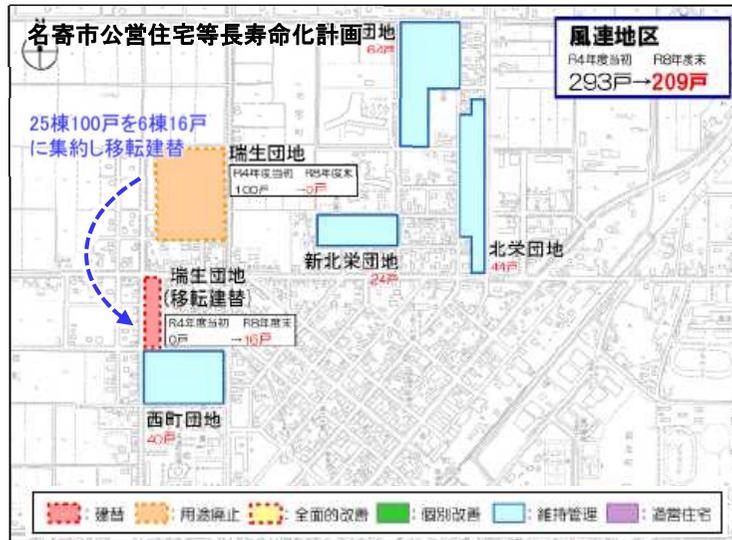
防災拠点施設及び高台整備について 関係機関と協議する。

減災対策協議会における「取組方針」(名寄市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ①出前講座や防災セミナーなどの機会を通じてマイタイムライン作成の必要性などを伝える。 ②マイタイムラインについて記載された防災ガイドマップの利用を普及する。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ①避難確保計画を作成していない要配慮者利用施設に対し、作成に向けた支援をする。 ②要配慮者施設に避難訓練の実施を促す。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉関係部署と連携し、避難確保計画作成及び提出並びに訓練の実施と報告書の提出について促した。 ①市内道路の案内看板の増設を検討する。 ②3Dハザードマップを作成について検討を進める。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ①今年度中に市内道路にまるごとまちごとハザードマップの標識を増設する。 ①小学校及び関係機関と連携し、防災体験教室を計画する。 ①小学性を対象とした、1日防災学校を開催した。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ①対象外地区の住民へ水害リスクを説明する。 ①防災セミナーで市内の水害リスクを説明した。

【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

◆ 名寄市では、立地適正化計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の配置計画見直し、居住誘導区域内へ再配置に合わせて、**浸水リスクの低いエリアへの移転を実施。**



現施設



新施設



令和4年度 1棟(3戸/棟)建築
 令和5年度 2棟(3戸/棟)建築
 令和6年度 3棟(3戸/棟～1棟、2戸/棟～2棟)建築予定

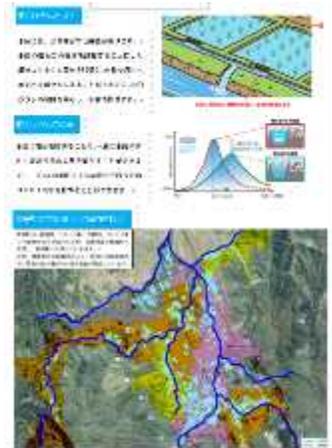
【和寒町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(和寒町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・平成28年から各環境保全会(町内10組織)の協力をいただき、水田800ha(作付面積)のうち800haを田んぼダムとして災害に備えています。



減災対策協議会における「取組方針」(和寒町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	住民一人一人が取る防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成の意識向上のため、他市町村の取組を参考に実施 自治会や小中学校での防災研修を行い、防災意識を高め、マイタイムラインの作成を促進した。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	避難確保計画の策定にあたり、必要に応じ継続した支援を実施する予定。 町内対象施設の避難確保計画は策定済みであり、確実な避難行動の体制が図られた。
ハザードマップの利用促進	想定最大規模ハザードマップ作成されたことからまるごとまちごとハザードマップ導入の可否について検討。 ハザードマップを利用して自治会や小中学校への研修会を開催し、利用促進が図られた。
防災教育の徹底	関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について、防災教育の素材等を学校に説明し実施を検討 小中学校を対象に防災についての授業を行い、防災の意識づけが図られた。
ハザードマップ対象外地区の対応	今後も、必要に応じハザードマップの更新を検討 対象外地域はなく、全町を対象としたハザードマップを作成している。

【剣淵町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(剣淵町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
農地への浸水対策	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

農地への浸水対策

・普通河川弥栄川の土砂掘削を行い流下断面の確保をした。



防災教育の徹底

・剣淵小学校4年生19名を対象に防災学校を行い、ハザードマップの周知をした。



減災対策協議会における「取組方針」(剣淵町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。 ①実施できなかった。今後は、地域の防災研修会等において、普及・促進に取り組む。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①引き続き避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ①担当者ベースで打合せをしており、次年度の策定を進めている。
ハザードマップの利用促進	①研修会等を通じて町民に周知する。(ホームページにも掲載) ①ハザードマップを活用し、小学生対象の1日防災学校を行った。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ①北海道の協力を得て、自治会長や地域安全部長、小中学生等を対象とした避難所運営研修や防災教室を実施。
ハザードマップ対象外地区の対応	①ハザードマップの対象外となっている地区を把握し、対応について検討する。 ①対象外となる地区はなし。

【下川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(下川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

農業用排水路の掘削

・令和3年10月に溢水氾濫した上名寄大排水路内の堆積土砂掘削及び部分的改修を実施。



防災教室において流域治水に関する説明

・9月、10月に実施された小中高の防災教室において流域治水についての説明。(約140名)



減災対策協議会における「取組方針」(下川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①R5年度はモデル地区を決定し先行的なタイムライン作成のサポートを実施予定。 ②R6年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。 ①マイタイムラインの意義等を公区長会議及び小中高の防災教室で説明 ②引き続きモデル地区を募集
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	R5年度の最新情報に合致させるため、要配慮者利用施設の避難確保計画を更新予定。 各施設を訪問し女王協を確認し必要の都度計画修正を助言する。
ハザードマップの利用促進	引き続きR5年度はまるごとまちごとハザードマップについて検討継続。 まるごとハザードマップ実現に向け各部署と調整中
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R5年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。 ①出前講座4件 ②教育委員会との調整済み
ハザードマップ対象外地区の対応	引き続き、次回の改定時にもデータ併用により対応したい。 適宜対応し次回の改定に反映予定

【美深町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(美深町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・田んぼ204.6ha(作付面積)のうち、**152.3haを田んぼダムとして活用**しています

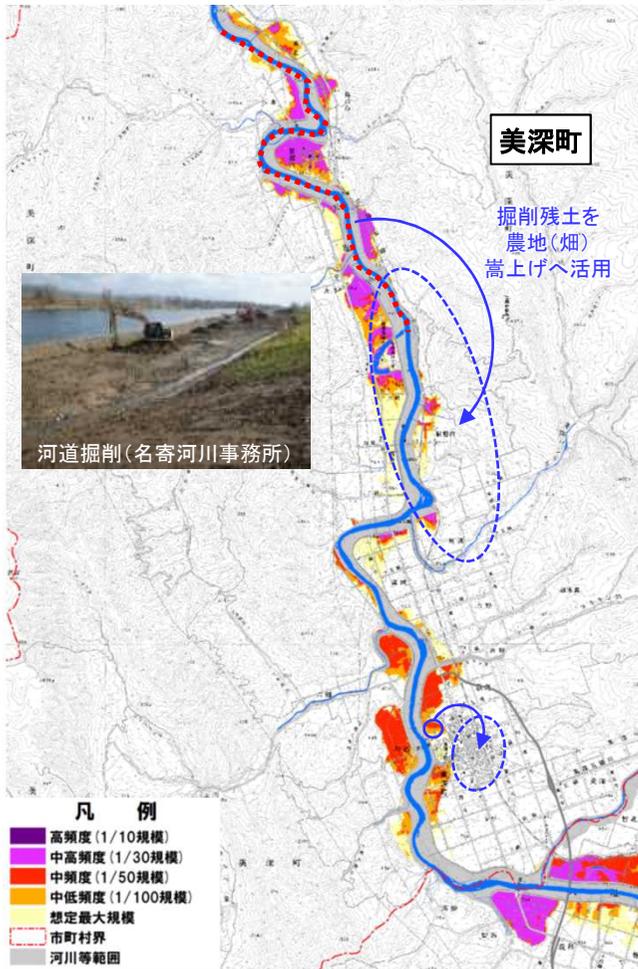
減災対策協議会における「取組方針」(美深町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ・自治会の防災訓練で説明予定
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難確保計画の策定にあたり、継続した支援を実施する予定。 ・地域防災計画上での要配慮者利用施設の指定
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、引き続き実施に向け検討。 ・美深高校の防災授業にハザードマップ等と
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新を検討。 ・氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新を検討。

【美深町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

- ◆ 天塩川沿いに市町村や各市街地が点在し、主要国道やJRが河川に隣接していることから、氾濫が発生すると普及・復興までに時間を要するなど、水害リスクが高い特徴がある。
- ◆ 町では名寄河川事務所と河道掘削残土の活用に関する協定を締結し、町内の農家と調整の上、農地(畑)の嵩上げを実施。沢水等による浸水被害の軽減を図っている。
- ◆ さらに、浸水想定区域内の特別養護老人ホームの施設更新に合わせて、浸水想定区域外への移転を検討しており、被害対象の減少を図る。(R5基本構想、R6実施設計、R7着手予定)

水害リスクマップ【現況河道】 浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示



美深町の取組

○河川工事との連携による浸水被害軽減対策

■河道掘削工事(名寄河川事務所)との調整(協定締結済)

■残土の受け入れ希望農地の調査・調整

※沢水等による中小降雨浸水被害の軽減、農業収益向上を図る



○災害時要配慮者施設の移転検討

現状、浸水想定区域に立地している特別養護老人ホームの施設更新に向け、以下のいずれかでの移転を検討

- ・浸水想定区域外
 - ・想定浸水深の浅いエリア+河道掘削残土活用した地上げ
- (R5基本構想、R6実施設計、R7着手予定)

※大規模洪水時の被害対象を減らす



【音威子府村】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(音威子府村)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

普通河川の掘削

・物満内川の堆積土砂を掘削し、流下断面の確保を図った。



防災教育の徹底

・7月12日に音威子府小中学校の児童生徒35名を対象に防災学級を開催。災害の危険について理解を深めた。



減災対策協議会における「取組方針」(音威子府村)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ①住民による作成サポート計画を立案し、広報等で周知予定。 ①マイタイムライン作成に向けた情報収集を行った。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ①今後、地域防災計画に位置づけた要配慮者利用施設において避難確保計画策定し、施設に関する職員等と共同する。 ①福祉部局との作成に向けた調整を行い、作成に着手した。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ①記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。 ①出水期前にハザードマップの確認を行い、住民周知。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ①7月に小中学校で防災学級開催予定。 ②関係機関と連携し、継続的な実施に向け協議を行う。 ①7月に小中学校で防災学級を開催。 ②小学生に対し水防の出前講座を実施。
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ①影響のある地域については、ハザードマップを見直す際に対象地域に加える予定。 ②該当地区について、影響の有無の判断・検討を行った。

【中川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和5年度～

計画表(中川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

自然地保全

・水辺の小さな再生事業として、北海道大学農学研究院教授の中村太士氏を招聘して、グリーンインフラと多自然川づくりに関する勉強会を実施した。



防災教育

・中川中央小学校の一日防災教室に参加し、避難所用の段ボールベッドの作り方に関する講座を実施した。



減災対策協議会における「取組方針」(中川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・住民による作成サポート計画を立案予定。 ・実施なし。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施予定。 ・避難訓練においても適宜実施予定。 ・避難行動要支援者について福祉担当者から情報提供を受けた。 ・避難訓練は実施なし。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・ハザードマップの説明会を実施予定。 ・多言語化については今後検討を行う。 ・説明会は令和4年度に実施済み。
防災教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を定期的実施予定。 ・小学校の一日防災教室を実施した。(令和5年9月)
ハザードマップ対象外地区の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施予定。 ・実施なし。

令和6年度の取組予定

【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(旭川開発建設部)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (名寄市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、 排水機場改築等 (点在する市街地)	→		
【河川事業】 河道掘削、堰改築、 堤防整備 (点在する市街地)	→		

R6年度の取組予定

河川事業

河道断面を広げて流下能力を確保。
(施工中の様子)



堤防の拡幅
(堤防強化対策を含む施工中の様子)



流下能力維持のため、必要な樹木伐採等を実施。



水防活動の拠点として、下川地区、名寄地区の拠点整備に向けた調整、用地取得を実施。
(写真は下川地区水防拠点 施工中)



【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(旭川建設管理部)

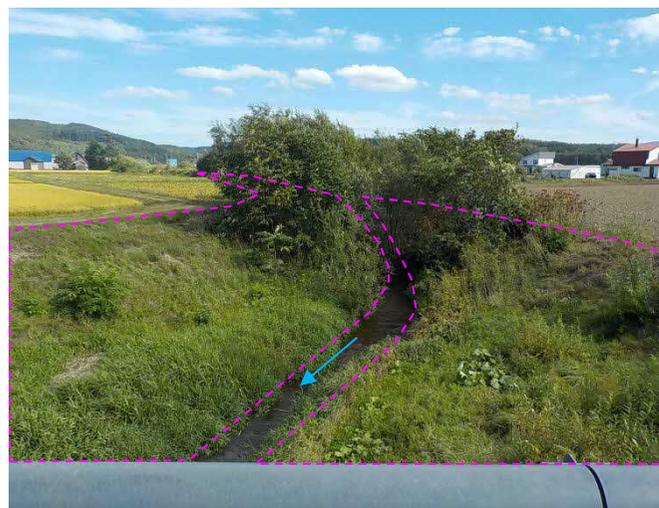
項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
豊栄川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒ (R4完了)		
忠烈布川総合流域防災事業 (名寄市)	⇒	⇒	(R10完了予定)
ペンケペオツペ川総合流域防災事業 (和寒町・剣淵町)	⇒	⇒	(R10完了予定)
剣淵川広域河川改修事業 (上流工区) (和寒町)	⇒	⇒	⇒ (R16完了予定)
剣淵川広域河川改修事業 (犬牛別川工区) (士別市・剣淵町)	⇒	⇒	⇒ (R16完了予定)
剣淵川広域河川改修事業 (六線川工区) (和寒町・剣淵町)	⇒	⇒	⇒ (R16完了予定)
十六線川通常砂防事業 (和寒町)	⇒ (R4完了)		
朝日六線川通常砂防事業 (士別市)	⇒ (R5完了)		
東二号の沢川通常砂防事業 (美深町)	⇒ (R3完了)		

R6年度の取組予定

過年度から引き続き、河道掘削等を推進する。



剣淵川(和寒町) 施工予定箇所(河川)



忠烈布川(名寄市) 施工予定箇所(河川)

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(上川総合振興局産業振興部整備課(整備課・北部耕地出張所))

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
農業農村整備事業 (農地の整備・ため池等の整備)	→		
農地整備事業(中士別第1期地区)	→		
農地整備事業(中士別第2期地区)	→		
農地整備事業(中士別第2地区)	→		
農地整備事業(中士別第3地区)	→		
畑地帯総合整備事業(ちえぶん地区)	→		
田んぼダムの広報	→		

R6年度の取組予定

農業農村整備事業

農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備)
農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、水田の貯留機能の向上をはかる。

排水路の整備

畑地帯総合整備事業において、排水施設の整備、耐水化をはかる。

田んぼダムの取組に関する広報

関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

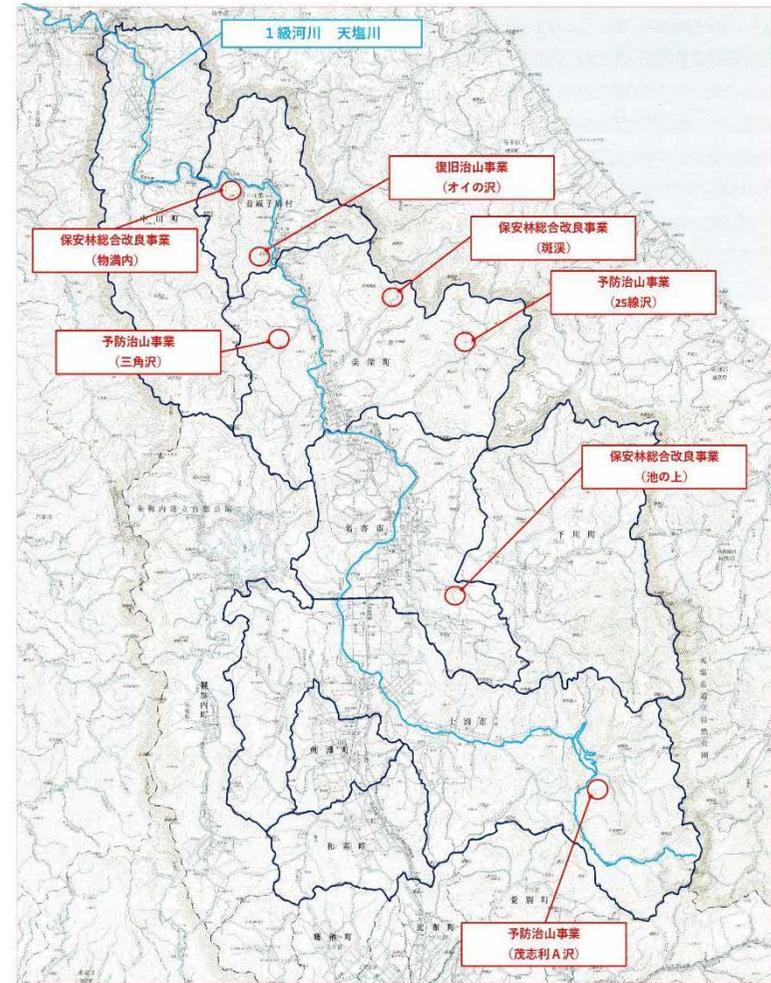
R6年度の取組内容

【上川総合振興局林務課・北部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(上川総合振興局林務課・北部森林室)

項目	短期 (R3～R7)	中期 (～R12)	長期 (R13～)
復旧治山事業 (オイの沢)	R7以降随時見直し(予定)		
予防治山事業 (三角沢) (25線沢) (茂志利A沢)	R7以降随時見直し(予定)		
保安林総合改良事業 (物満内) (斑溪) (池の上)	R7以降随時見直し(予定)		

R6年度の取組予定



実施年度	工種・数量	実施箇所
令和6年度	溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 溪間工 1基 森林整備 8.90ha 森林整備 9.70ha 森林整備 12.35ha	オイの沢 三角沢 25線沢 茂志利A沢 物満内 斑溪 池の上

【上川北部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(上川北部森林管理署)

国有林野施業実施計画			
事業区分	上川北部森林計画区 (R5年度～R9年度)		
治山	溪間工	9	箇所
	山腹工	1	箇所
	植栽工	—	ha
	本数調整伐	37	ha
森林整備	間伐	7,089	ha
	更新(造林)	422	ha
	保育(下刈)	3,585	ha
	(除伐)	1,143	ha
	林道(開設)	17,305	m
(改良)	90	m	



令和6年度の取組予定

奥沢川治山工事



下流にある市道及び民家の保全のため、士別市国有林に溪間工2基を計画

志文内川治山工事



下流にある町道及び水道施設の保全のため、中川町国有林に溪間工1基を計画

【国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター北海道水源林整備事務所】

流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(森林整備センター北海道水源林整備事務所)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
水源林造成事業	→		

R6年度の取組予定

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

- ・天塩川流域における水源林造成事業地は、約21箇所（森林面積約9百ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

R6年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策
森林整備 間伐実施



間伐実施前

間伐実施後

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度～

■令和5年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動の支援となるよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆防災気象情報の利活用推進

■上川・留萌管内防災連携TV

令和5年8月～

旭川地方気象台では、令和3年12月から市町村等を対象にZoomによる気象解説を実施している。令和5年8月からは『上川・留萌管内防災連携TV』として、週一回の定期開催と、警報級の可能性が高まった時などの臨時開催とし再スタートした。上川・留萌各（総合）振興局及び旭川・留萌各開発建設部との5者連携・協力とし、平時から上川・留萌管内市町村へ気象等解説や情報共有を行なう場となっている。「顔の見える関係」の構築・深化を図るとともに、緊急時における地域の防災対応に資することを目的としている。

8月2日に実施した臨時開催の様子（イメージ）



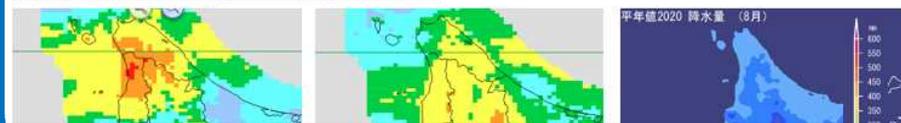
3日～5日頃の大雨について

資料は
部内限り

観測地点	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
旭川	12.5	10.0	15.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
留萌	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
網走	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
稚内	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

3～5日の大雨の早期注意情報（警報級の可能性）は【中】としていますが、2日17時の発表予報で、3日夕方から【高】とする検討をしています。

雨の予想 多い所で、1時間降水量 40ミリ
3日6時～4日6時までの24時間降水量 多い所で 100～150ミリ
4日6時～5日6時までの24時間降水量 多い所で 50～100ミリ



■市町村との大雨事例振り返り

令和5年10月

令和5年8月3日から6日にかけて、停滞前線の影響により上川・留萌地方の広い範囲で大雨となり、特に、5日から6日にかけて、上川・留萌地方ではまとまった雨が降り、降り始めからの総降水量が8月の平年の一か月の降水量を超えた地点もあった。このことから、気象台の発表する防災気象情報の今後の改善等を目的に、当時の気象状況や自治体における防災対応等の振り返りを複数市町村と行なった。



－令和6年度に向けて－

引き続き、「市町村との顕著事例振り返り」「上川・留萌管内防災連携TV」「気象防災ワークショップ」を行ない、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の取組を進める。

非常災害時には自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探る。

【士別市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(士別市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水排水施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ2,221.099ha(作付面積)のうち、**約606.4haを田んぼダムとして活用**しています。
- ・今後は更に拡大をはかるため、引き続き、地域住民に対するPR等を実施いきます。

支援者研修会(仮)

- ・避難行動要支援者を支援する支援者を対象として「研修会」を通じ、災害時の役割を再確認するとともに、マイタイムラインを説明して、自助の意識を高揚させる。

減災対策協議会における「取組方針」(士別市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	・個別計画支援者に対する研修会において、各地区に応じたタイムラインを説明し、支援者自らの防災意識の高揚を図る。
確実な避難行動の実施 (災害時避難行動要支援者)	・個別避難計画の実効性を高めるため、支援者に対する研修会を開催
様々な情報伝達手段による情報発信	・しべつ暮らしナビ(市民アプリ)をJアラート情報に連携させ、アプリの普及を図る。
防災教育の徹底	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行うとともに、水防学習会を通じて防災意識の高揚を図る。
ハザードマップ対象外地区の対応	・対象外となっている地区の水害リスクの把握要領をわかるように図式化して、大雨時に活用(マニュアルへの反映準備)

【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(名寄市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

減災対策協議会における「取組方針」(名寄市)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①出前講座や防災セミナーなどの機会を通じてマイタイムライン作成の必要性などを伝える。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①避難確保計画を作成していない要配慮者利用施設に対し、作成に向けた支援をする。 ②要配慮者施設に避難訓練の実施を促す。
ハザードマップの利用促進	①名寄市が取り組んでいる「まるごとまちごとハザードマップ」を市民にアピールする。
防災教育の徹底	①小学校及び関係機関と連携し、1日防災学校をする。
ハザードマップ対象外地区の対応	①対象外地区の住民へ水害リスクを説明する。

浸水対策を講じた施設建設計画

- 一般廃棄物中間処理施設(焼却施設)建設計画について

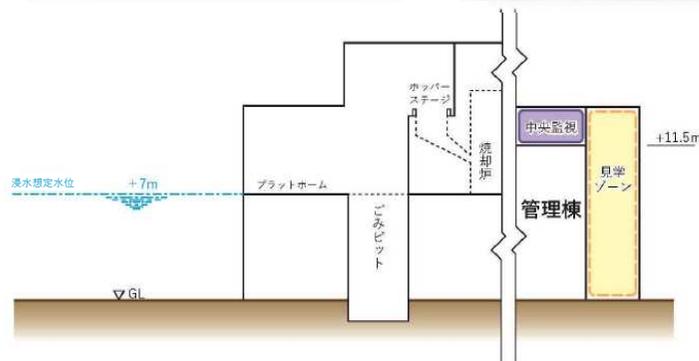
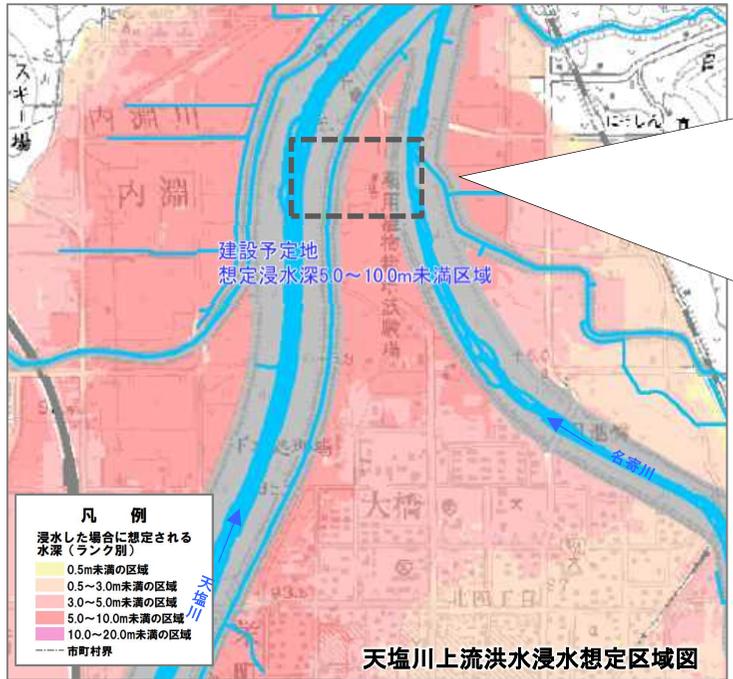
名寄地区衛生施設事務組合における一般廃棄物中間処理施設の建設にあたり、建設予定地が浸水想定区域内となるため、基本計画において浸水対策を講じる内容とした。ごみピット内への浸水を防止するため、ランプウェイを設置し、プラットホームを浸水想定水位より高くする仕様としている。(令和6年度工事着手 令和9年度供用開始予定)



現在の施設

【名寄市】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

- ◆ 名寄地区衛生施設事務組合における一般廃棄物中間処理施設(焼却施設)の建設にあたり、建設予定地が浸水想定区域内となるため、基本計画において浸水対策を講じる内容とした。ごみピット内への浸水を防止するため、ランプウェイを設置し、プラットホームを浸水想定水位より高くする仕様としている。
(令和6年度工事着手 令和9年度供用開始予定)



プラットホーム・焼却炉・中央制御室等、設備中枢部は浸水を避けた高さに配置

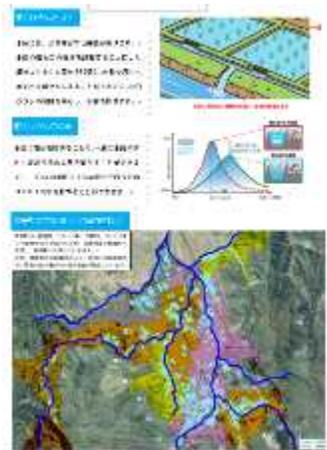
【和寒町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(和寒町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・平成28年から各環境保全会(町内10組織)の協力をいただき、水田800ha(作付面積)のうち800haを田んぼダムとして災害に備えています。



減災対策協議会における「取組方針」(和寒町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	自治会や小中学校での防災研修に取り組み、防災意識を向上させ、マイタイムラインの作成を促進する。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	対象施設の避難確保計画は策定済みとなっているが、対象施設には、避難訓練の実施など確実な避難行動がとれるよう進めていく。
ハザードマップの利用促進	小中学校でのハザードマップを利用した授業や自治会での研修を実施し、ハザードマップ利用の促進を図っていく。
防災教育の徹底	自治会研修や小中学生を対象とした防災の授業などを通じて、防災への意識向上を図る。
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップ対象外地域はなく、今後のハザードマップ更新時も全町を対象としていく。

【剣淵町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(剣淵町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
農地への浸水対策	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ644 ha(作付面積)です。
- ・今後、農政部局へ活用に向けた検討をしていきます。

マイタイムラインの作成促進

- ・自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定

減災対策協議会における「取組方針」(剣淵町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別避難計画を作成。
ハザードマップの利用促進	①研修会等を通じて町民に周知する(ホームページにも掲載)。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座等を実施予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	①対象外地区なし。次回の改定時にも、漏れがないよう対応する。

【下川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(下川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	適宜		
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

- ・田んぼ58 ha(作付面積)
- ・引き続き田んぼダム実施に向けた広報啓発を実施予定。

町長による河川危険箇所視察

- ・水防関連危険個所の関係者間の認識統一を図るため、町長による視察を実施予定。

流域治水に関する説明・意見聴取

- ・6月、12月、3月に実施の公区長会議の場で流域治水についての説明を継続実施予定



減災対策協議会における「取組方針」(下川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①R6年度は引き続きモデル地区を決定し先行的なタイムライン作成のサポートを実施予定。 ②R7年度以降もサポートを地区実施予定。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	R6年度の最新情報に合致させるため、要配慮者利用施設の避難確保計画を更新予定。避難訓練の補助予定
ハザードマップの利用促進	学校への出前授業等で活用を推進予定。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R6年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	引き続き、次回の改定時にもデータ併用により対応予定。

【美深町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(美深町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大		継続
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

田んぼダムの活用

・田んぼ204.6ha(作付面積)のうち、**152.3haを田んぼダムとして活用**しています

減災対策協議会における「取組方針」(美深町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	・R6年度は住民による作成サポート計画を立案予定。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	・避難確保計画の策定にあたり、継続した支援を実施する予定。
ハザードマップの利用促進	・まるとまちごとハザードマップの作成を検討。
防災教育の徹底	・関係機関と連携し、引き続き実施に向け検討。
ハザードマップ対象外地区の対応	・氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新を検討。

【音威子府村】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(音威子府村)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

自然地保全の取り組み

- ・関係機関と連携しながら保全の取り組みを継続する。

普通河川の掘削

- ・土砂堆積により河川断面が阻害され河川流下能力を低下させないよう、適宜、河川掘削を実施する。

減災対策協議会における「取組方針」(音威子府村)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	①住民による作成サポート計画を立案し、広報等で周知予定。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	①今後、地域防災計画に位置づけた要配慮者利用施設において避難確保計画策定し、施設に関する職員等と共同する。
ハザードマップの利用促進	①記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。
防災教育の徹底	①関係機関と連携し、継続的な実施に向け協議を行う。
ハザードマップ対象外地区の対応	①影響のある地域については、ハザードマップを見直す際に対象地域に加える予定。

【中川町】流域治水プロジェクトの取組 ～令和6年度の予定～

計画表(中川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用(旧川)	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設	既存施設の確認	排水不全等の改善	継続
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転などの住まい方の工夫	検討	実施の判断	実施

自然地保全

・水辺の小さな再生事業を継続し、町内河川の保全に努める。

減災対策協議会における「取組方針」(中川町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	住民による作成補助計画を立案する。
確実な避難行動の実施(要配慮者利用施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施する。 ・避難訓練を適宜実施する。
ハザードマップの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・多言語化については今後検討を行う。
防災教育の徹底	・小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を定期的実施する。
ハザードマップ対象外地区の対応	・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施する。